

「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

2007年12月13日
「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会 NO.5

11/10 栄で街頭宣伝と 「より良く食べるはより良く生きる」 市民公開講座を開催

11月10日
(土)午後、栄の
バスターミナル
前に「保険でより
良い歯科医療を」
の青いノボリが
立ち並ぶ中、愛知
連絡会のメンバ
ー20数人が道行く人にチラシを配りながら
署名を訴えました。



大藪憲治会長、江原雅博副会長、愛知県保険
医協会の池潤歯科部会長らが宣伝カーのマイ
クを握り歯科の厳しい現状を紹介しながら、署
名を通して国民の声を伝えることで歯科医療
崩壊をくいとめることができると訴えました。
署名に協力してくれた方々からは「今、歯科治
療をうけているが支払いが大変」「今はまだい
いが、高齢になったときの歯科治療費が不安」



などの切実
な声が聞か
れ、1時間弱
の取り組み
で120筆
の署名が集
まりました。

市民公開講座を開催

署名活動終了後、栄の名古屋市教育館で「よ
り良く食べるはより良く生きる」市民公開講座
を開催しました。大藪憲治会長が保団連発行の
「より良く食べるはより良く生きる」のパンフ
レットを使い、食べることと全身の健康の関係
について講演しました。その後、参加者から「私

たちが望む歯科医療」について意見交換がされ、
患者、歯科医療従事者それぞれの立場から意見
が出されました。



(主な発言内容)

今日署名をしていたら、歯科の治療に40万
円かかったという人がいました。署名をしてく
れる人は、治療をしている方々で、そうでない
人は通り過ぎていきます。歯科のことはいろい
ろテレビでとりあげていると思うのに肝心な
所が伝わっていない。今日の街頭宣伝の訴えを
国民全体に伝えられる取り組みを行って欲し
い。

アレルギーを持つ患者が歯科治療をした場
合に、金属のアレルギーがあるのか詰めてみな
いとわからない。相談できる歯医者さんがいな
いのも現実、患者・歯医者さんともに勉強して
前に進んでいきたいと考えている。保険で良い
歯科医療でもアレルギーのあるものの立場の
ことも考えていただければと思う。

20年近く歯科医院の事務をしているが、最
近は小学生の予約をとることすら塾などの都
合で大変になってきている。このため食事の時
間もバラバラになっており、より良く食べるこ
とが難しくなっている。子供も含め健康格差が
拡大し、皆保険制度が崩されようとしている。
歯の機能の大切さというものを痛感している
と同時に、保険で安心して歯科治療ができる制
度の継続、発展に努力していきたい。

保険で良い歯科医療を求める請願署名
33000筆(目標の67%)を
突破！第1次分を国会に提出

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会で取り組む「医療にまわすお金を増やし、保険で良い歯科医療の実現を求める請願署名」は12月10日現在で33000筆を超える署名が集約されました(目標を50000筆)

請願署名第1次分を国会に提出



国会提出前に積み上げられた署名。写真は6000筆以上の署名を集めた大府市の小塚信幸歯科医師

医療費総枠拡大・診療報酬引き上げ、患者負担軽減、後期高齢者医療制度の凍結・見直しを求め、11月29日に行われた中央行動

に、保険医協会、民医連の代表者らが上京し、この間、「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会が集めた約33000筆の請願署名を12人の地元国会議員を紹介議員に国会に提出しました。

中央行動では、地元国会議員要請のほか、診療報酬問題で厚労省と懇談、財務副大臣への要請、内閣府要請などを繰り広げられました。午後には、参議院議員会館内で、医団連各団体と共同して「診療報酬引き上げ、患者負担軽減で医療の再生を11・29国会内集会」を開催。

これには、全国から約170人が参加しました。国会内集会には、公明党を除くすべての政党から35人の国会議員(代理含む)

が来賓として出席しました。集会後は、財務省前で白衣の宣伝行動が120人の参加で行わ



井上哲士参議院議員に署名を手渡す

れ、愛知からは、「ストップ！医療崩壊」などを訴える東海ブロックの横断幕を持って、参加しました。

紹介議員(敬称略)

<衆議院議員>

河村たかし・古川元久・近藤昭一・牧義夫・岡本充功・古本伸一郎・伴野豊・鈴木克昌(以上民主) 佐々木憲昭(共産)

<参議院議員>

大塚耕平・木俣佳丈(以上民主) 井上さとし(共産)

尾張西部の各地で「お口の健康」出前講座を開催

保険医協会尾張西部地区では、食べることの大切さや歯の健康、歯科治療の重要性について、住民の理解を深めるため、「より良く食べるはより良く生きる」をテーマにした健康講座にとりくんでいます。

地区活動でつながりのある団体に呼びかけ、大藪憲治会長を講師として次の4カ所で開催し、好評を博しています。

10月25日(木)午後1時半、高雄西学習等供用施設、新日本婦人の会扶桑支部主催。

11月7日(水)午後7時、北名古屋市健康ドーム、北名古屋民主商工会主催。

11月11日(日)午後1時、扶桑町総合福祉センター、扶桑町年金者組合主催。

11月23日(金)午後2時、江南市社会 社会館、新日本婦人の会江南すずらん班主催。

どの会場でも、参加者はパネルやパワーポイントでの説明に真剣に聞き入り、自分や家族の歯の健康や、入れ歯の悩みなどについて活発に質問が出されました。また、歯科治療の保険と自費の関係や、後期高齢者医療制度についての質問なども出され、意見交流がされました。

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会
〒466-8655
名古屋市昭和区妙見町19-2
愛知保険医会館内
TEL 052-832-1349
FAX 052-834-3584